

## チュチュ思想に根ざした朝鮮労働党第8回大会が収めた成果



ロヘケレ・カロンダ・アンドレ

チュチュ思想国際研究所理事

アフリカ・チュチュ思想研究委員会書記長

朝鮮人民は2021年1月5日から12日まで朝鮮労働党第8回大会の拍動に合わせて日々を送った。この重大な歴史的出来事は、金日成主席が開拓し、金正日総書記が前進させたチュチュの革命偉業の真の継承者である金正恩総書記の賢明な指導の下、国の全般的発展に新たな活力を与えるために人民の代表者たちを平壤に集合させた。

朝鮮労働党第8回大会の前までの、党第7回大会が示した綱領にしたがって行なった活動に対する総括は、政治・思想、経済、安保の面にわたる非常に肯定的なものであった。白頭山の伝統にもとづく政治的・思想的威力が強化され、強力な核の盾をもつ国防力が世界の前列に堂々と入るようになった。中華人民共和国とロシア、キューバとの双務関係が強化され、アメリカ合衆国との関係では首脳会談を記録した。人民の社会・経済生活水準が質的に向上した。しかし、金正恩総書記は朝鮮労働党第8回大会で、新しい時代のために新しい方法論を示した。現実的に同8回党大会は、7回党大会以降傾注した国家的努力にたいする肯定的総括で満足したのではなく、内在している欠点を克服するために国家生活の各分野にたいする批判的検討を厳しく行う方向で行われた。まさにこれこそ、今日のための今日を生きるのではなく、明日のための今日を生きるべきだと常に強調していた金正日総書記の教えどおり、高い思想・意識と自力更生、創造精神でより頑張ろうとする金日成・金正日主義の基本精神ではないか、こうした方法論的な特徴は代表たちの愛国の熱、チュチュ思想の精神的熱気をいっそう高揚させた。

朝鮮労働党の規約を改正したことは、党の指導力と戦闘力を非常に強化した。また、金正恩閣下を党総書記として推戴したことは、自分たちが尊敬する指導者にたいする朝鮮人民の絶対的な信頼の発現であり、燃えるような忠誠心と一心団結の不可抗力の力で党の指導的役割を強化しようという朝鮮人民の決心の噴出であった。

以民为天と自力更生を促す一心団結により自立的な内的原動力を増大させ、人民生活のすべての部門で持続的な勝利を収めるために、発展と進歩の恒久的な保証である

党と国家の威力を強化する新しい規律監督体系を樹立するなど、一連の重要な決定を採択した。

国家活動のすべての部門が具体的に検討されることにより、確固たる成果を保証し、時代と朝鮮人民の合法的な念願にも符合する、すべての条件を考慮に入れた新たな国家経済発展5ヵ年計画が作成された。

経済の活性化を促進させ、農業部門の物質的・技術的土台を高め、原料の国産化を増大させ、金属や化学をはじめとする各部門をより発展させ、国防力を質的、量的に強化する、科学技術発展の必要性が言及された。そのため、第8回党大会は科学的な組織指導活動に力を入れながら段階別の計画を作成し、権柄と官僚主義、不正不敗のような弊害を根絶するようにした。

こういうことからわれわれは、朝鮮労働党第8回大会が示した新たな国家経済発展5ヵ年計画に反映された行動綱領が、深みのある検討と厳しい肯定的批判に基づいて作成され、また分野別に、段階別に緻密に打算し苦心しながら能率的に作成されたことにより、成功するすべての幸運を有していると確信するものである。